

# 宗谷

宗谷教職員組合

「宗谷情報」No.24 平成27年3月24日発行  
発行責任者：高一伸

〒097-0004 稚内市緑2丁目4-21 宗谷教育会館  
Tel 0162-22-2480 FAX 0162-22-2484  
web : http://www.soya-teachers.org Mail : info@soya-teachers.org

メール  
はこちら



分 会 会 議  
配 布 資 料

## 新しい道政の実現をめざして

道知事選について積極的に考えよう！

### 3期12年の高橋道政 道民は痛みを押し付けられてきました

今度の知事選挙は、安倍政権による教育改悪の流れを北海道で止めるのか、または推進するのか、大事な選挙になります。

高橋知事は三期一二年間、基本的に自民党や時の政権による教育改悪を推進してきました。全国学テ・チャレンジテストによる競争教育の推進、学校に混乱を持ち込む「君が代」斉唱の公開授業を強制、十六年連続の給与削減

(日本一)、差別賃金の勤労手当・査定昇給制度導入、道費による三五人学級の凍結など教育改悪をすすめる高橋知事・道教委の責任は重大です。

道政についても、原発容認、道立病院の削減、道立高校の統廃合、観光産業のためだとしてのカジノ誘致の検討、大企業誘致への税金投入が雇用拡大になつていない、米海兵隊移転訓練の容認など、道民に痛みを押しつけてきました。

### 「明るい会」ってなんだ!?

「明るい革新道政をつくる会」といいます。私たち宗谷教職員組合のまわりには、要求や運動づくりの方針で手を結ぶたくさんの団体があります。道教組もそのひとつです。1978年結成の「明るい会」の構成団体をみると、道労連・道教組など16団体が名を連ねています。これらの団体は、賃金確定交渉の際に手を結び日常的に行動を共にしている仲間です。

宗谷教職員組合は、道教組に集う単組として、道労連・道教組の提起を受けて「明るい会」が行う選挙の取り組みに賛同し、以下に掲げる選挙に関する基本方針を大切にしながら選挙に向かいます。

### 宗谷教組の基本方針

自治体の首長選挙は党派別ではなく政策協定・組織協定をもとにたたかわれるのが普通です。いずれの選挙においても宗谷教組の基本方針は次の三点です。

#### ① 政党支持の自由を明確にして

思想信条の自由は、憲法に明記された民主主義の根本原則です。教職員組合として、一人ひとりの組合員の思想信条の自由・政党支持の自由を明確にしあいましょう。

#### ② 学びあいを基本に

「選挙に行かない」という選択をすることは、思想信条の自由とは異なるものです。私たちの要求を改めて明確にしあい、各候補の政策を積極的に学び合ひましょう。

#### ③ 旺盛な後援会活動を保障しあって

支持する政党・候補者の後援会組織の立ち上げや活動を保障しあい、職場で政治・教育や政策を大いに語り合う後援会活動を積極的に進めましょう。また、職場の中で、後援会活動が展開されるように保障しあいましょう。

## 宗谷教組の要求実現のため、 革新道政の実現が必要です

私たち宗谷教組は、次のような基本的要求の実現をめざしています。

- ・ 民主的學校づくり
- ・ 多忙・多忙感を解消する
- ・ 憲法と平和を守る

- ・ 原発、放射能から子どもを守る
- ・ 査定昇給制度、独自削減に反対

このように宗谷教組が掲げる要求の実現のため、基本的な政治姿勢で一致する知事の誕生が必要です。

### 「明るい会」が支援する佐藤のりゆき候補は、 4つの共同目標「で」大筋一致

今回の道知事選は、現職の知事と、佐藤のりゆき氏の2名が立候補を表明しています。そうした中で、「明るい会」が支援を表明している佐藤氏が示す4つの共同目標(下記)は、私たち宗谷教職員組合が日ごろから掲げている要求とも一致すると考えることができます。

- ◆ 平和憲法を守り、道政のすみずみまで憲法を活かすこと。
- ◆ 原発のない北海道、再生可能なエネルギーで地域づくりをすすめること。
- ◆ TPP交渉からの撤退を求め、北海道の農林水産業と地域経済を守ること。
- ◆ 貧困と格差をなくし、道民が安心して住み続けられる地域をつくること。

## 道知事選挙にあたっての具体的方針

◆ 宗谷教組・道教組が掲げる「安倍『教育再生』反対」、「どの子にもゆき」といいた教育を」「原発ゼロ」社会の実現」「憲法を生かした道民が主人公の政治の実現」などの要求実現をめざします。  
「明るい会」で支援する佐藤のりゆき候補の政策についての学習を職場や支部ですすめ、支持をたずましましょう。

宗谷教組の選挙に関する基本方針は歴史的に上のコラムで確かめている通りです。その上で、組合員一人ひとり

がこの具体的方針をもとに、自覚的に学びあい、選挙権を行使しましょう。

# 1年の節目「支部総会」で語り合おう

## 全教・道教組も定期大会開催

二月から三月、学校の一年よりもちよつと早めに組合では運動づくりの節目を迎えます。

二月に全教が定期大会を、三月一四日には道教組が定期大会を行いました。また、宗谷教組の各支部では、二月末に稚内支部が年次大会を行っています。

稚内支部年次大会では、ほとんどの分会から発言があります。「分会会議がなかなかできない」という苦しさが伝え聞こえてくる中で、こんな発言がありました。各分会からの発言の中に次のようなものがありました。

開会の、さいしよに「そんな街を」を歌いましたよね。実はわたしは、「そんな街を」の高音、一部合唱の二部の方を心得ておらずに、ひとりで声を大きくしてそのパートを歌ってしまいました。そんなことなんじゃないかと思つてます。

ひとりでやるって大変です。そこで、同じように歌ってくれる人が二人・三人ついたら歌えるようになるのかな...。職場の中でも声を挙げる時に一人だと大変だけど、二人・三人...十人ってなるのがいいんじゃないかなって思ってみなさんと同じパートを歌っていました。

この分会長さんは、「先輩から受け継いでできたことを、ちゃんと伝えていかなければならない」と思っています。

えていかなければならないと「とも話してくれています」。

また、二月一四日〜十五日には、全教が定期大会を行いました。この宗谷情報に同封している「新聞全教」で、その様子を伝えていきます。全国各地から集まった代議員の討論の発言要旨が掲載されています。

宗谷教組もそうであるように、討論の発言が「その組合の姿」を映し出すものです。ぜひ、読んでみてください。「全教」という組合の姿が見えてきます。

これからの季節は、各支部の送別会・歓迎会や支部総会が行われる時期です。ぜひ、私たちの組合の運動について語り合ひましょう。春からの展望が見えてくるはずですよ。



中面の特集は必読!

# 春の学び愛

## フェスタ

今年のフェスタは  
**5月9日**に開催決定!

### 全体講演

## 「いま 教師であること その困難と希望」

宗谷の春の学び初めは、「学び愛フェスタ」。今回の全体講演は滋賀県立大学の福井 雅英先生にお願いしています。教職員の仕事を発達援助の総合専門職という視点で、子どもたちの姿に寄り添っていくことについてお話をさせていただく予定です。

また、分科会についてはちよこつとリニューアル。管内・道内で民主的な教育実践を紡いでいるみなさんを宗谷に迎え、共に学び合える講座形式のものを企画しています。こちらは、第一弾のチラシに詳細を。

5月9日は、今から予定を空けておいてくださいね。



## 全体講演は、福井雅英先生! (滋賀県立大学 特任教授)

### 宗谷の四季

◆おもて面、道知事選挙についてまとめました。現職知事vs新人の一騎打ちとなった今回の知事選。続一地方選挙として行われる今回の道・県知事選挙の中で、「こうした」「一騎打ち」となるのは北海道だけなんだそうです。

選挙というところ、道教委から「教職員の政治活動の禁止について」という通知が出されたりして、何か「やっちゃいけないこと」と「な感じを受けがちなもの」です。そして、『保守』とか『革新』とかという言葉も、何やら難しく感じるに拍車をかけている...そんな見方もあるでしょう。

大事なのは、一人ひとりが今の社会の現状と、各候補者の公約を照らし合わせるなどの「学び」と、選挙に(投票に)行くことなのではないでしょうか。

◆学校は新年度に向かっていますね。退職されるみなさん、他管異動されるなど宗谷を離れるみなさん、これまで宗谷教組の運動づくりにお力をお貸しいただきありがとうございました。

◆さて、今年度の宗谷情報はこれが最終号。今年度は、査定昇給制度や衆議院選挙などで特集を組み情勢をお知らせする機会が多くありました。新年度は「組合づくりがこうしてこうしているよ」というものもたくさん伝えていきたいと思います。ご愛読ありがとうございました。